

市民の

W
A

吉祥寺商店会 パトロール

吉祥寺のまちを彩る、魅力ある商店街を地域で守るため、吉祥寺地域の商店会で構成された「吉祥寺商店会パトロール」が昨年、発足しました。



積極的な声掛けにより地域の防犯意識向上を高める。



ダイヤ街商店協同組合理事長 和久津 豊さん

地元商店会が立ち上がり吉祥寺のさらなる安全強化へ

「住みたい街」として知られる吉祥寺の人気の理由の一つに、吉祥寺駅を中心として広がる商店街の存在があります。いくつもの店が連なる商店街は、そのにぎわいでまちを活性化させる反面、多くの人が行き交うことにより、犯罪のきっかけが生まれる危険性も潜んでいます。

「近年、問題になっているのが飲食店の強引な客引き。悪質な客引きはまちのイメージを悪化させます」と語るのは、ダイヤ街商店協同組合の理事長である和久津豊さん。特に夕方以降の安全対策が急務となり、昨年からは吉祥寺商店会パトロールが発足しました。

このパトロールは、各商店会の組合員を中心に武蔵野警察署、武蔵野市役所など関係機関の協力のもと、毎月1回、夜の8時から2時間程をかけて商店街をパトロールします。強引な客引きなどに声をかけることで、まちの安全を守っています。

来街者が楽しく買い物できる安心のまちを目指して

吉祥寺商店会パトロールの基盤となっているのが、平成6年に始まった「吉祥寺環境浄化活動」です。キャッチセールスや違法看板の増加、公道にはみ出しているの販売行為などを防ぐため、日中の見回りや声掛けなどを行ってきました。これまで吉祥寺地域では、「市民安全パトロール隊」「ホワイトイーグル」「ブルーキャップ」「吉祥寺ミッドナイトパトロール隊」がパトロールを実施してきました。新たに加わった吉祥寺商店会パトロールは、「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」を合言葉に、安全・安心なまちづくりのために活動しています。ユニホームは昨年10月に吉祥寺に開店したユニクロ吉祥寺店の協力で作成した、青地に赤いロゴのデザインです。

「安全や安心は当たり前のもと思われがちですが、吉祥寺の安全はまち全体が努力した結果。親子連れの方も安心して買い物を楽しめるまちを目指しています」。



環境浄化活動の一環で公道を占用している屋外看板を見回る。



夜の繁華街をパトロールして犯罪や事故を未然に防止する。



一目でパトロール隊と分かるオリジナルユニホームで活動。



活動報告や方針の共有のため定期的な打ち合わせを開催。